

共 同 声 明

「本日の党首討論に期待する」

平成 16 年 11 月 17 日

21 世紀臨調「知事・市町村長連合会議」座長 増田 寛也（岩手県知事）
提言・実践首長会会長 石田 芳弘（犬山市長）

本日午後、小泉純一郎内閣総理大臣と野党第一党党首である岡田克也民主党代表との党首討論が予定されている。われわれは、今般の党首討論において、三位一体改革が真正面から取り上げられ、国民注視の国会の場で、両者による正々堂々の議論が展開されることを強く希望するものである。

三位一体改革については、政権与党である自民党はもちろんであるが、民主党の責任も、極めて重大である。民主党は、先の総選挙において自民党を上回る 18 兆円規模の補助金廃止をマニフェストに明記した。にもかかわらず、今日ここに至るまで、政府の進める三位一体改革への民主党の関心と対応はすこぶる鈍いと言わざるを得ない。

言うまでもなく、政府与党による政権公約（マニフェスト）の実行を国民に代わって監視・追及するのは、政権の座を与党と競い合う立場にある野党第一党の役割である。

岡田代表は今般の党首討論において、①小泉総理は先の総選挙で示した政権公約を守るのか否か、②閣議決定した骨太方針 2004 を守るのか否か、③骨太方針 2004 に基づく政府の要請により**地方六団体を取りまとめた改革案を最大限尊重するのか否か**を、真正面から糾すべきである。

また、小泉総理は、11 月 12 日の全国知事会議で示した改革への意欲を具体化させるためにも、国民注視の党首討論の場で、これらの問いに真摯に答えるとともに、地方六団体の取りまとめた改革案を基本とする改革の断行に向けて、小泉総理自身が強力なリーダーシップを発揮する決意を表明すべきである。

われわれは、以上を小泉総理と岡田代表の双方に訴えとともに、本日の党首討論の成り行きを重大な関心と期待をもって見守りたい。

